

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ドリーム			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～	R7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16世帯	(回答者数)	10世帯
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～	R7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	福祉、療育に精通した職員を配置しており、保護者のニーズに応じた療育支援を実施している。	お子様の成長に合わせて、支援内容や、課題を支援者が工夫して準備している。その日の体調や、気持ちに合わせて、臨機応変に内容の変更もできる。保護者の要望によって長期目標を立てて本人と保護者に達成感を味わってもらえるような療育を心がけている。	楽しい支援内容につながる為に、工夫やアイデアが出せるように常に、支援者も学ぶ姿勢を惜みず、研修の機会を毎月行い、支援に活かしていけるように取り組みを行っている。また毎月の事例検討を行う事で支援内容の職員間の共有をして、支援に反映させていく。
2	集団支援の中で、遊びを通じ「楽しめる」工夫を行っています。また、利用者それぞれに合わせた、個別活動として療育をお子さまに合わせて、保護者のご要望も含めた支援内容で療育ができる。	出来たという達成経験を増やし、自信につなげてもらえるよう促し支援を行っている。学習や、コミュニケーションでの課題については個別に促し、成功体験を多く積んでいく。あらゆる生活の場面、特に集団の生活での、難しさ・困り感を軽減する補助を行っている。	活動や支援課題・要望に沿って、楽しみながら取り組み、出来た成功体験から自信を持って、他者と関われるように状況や成長に併せて、随時課題を次のステップにいけるように支援者も成長に向けた準備をしておく。お子様と共に、保護者の不安や、困り感に気づきやすい環境を作っていく。
3	保護者様と日々の利用の際に顔を合わせ、当日の様子と今後の支援などをお話している。フィードバックという時間がある。送迎の引継ぎ時に家庭や学校などの様子を共有でき、支援内容に活かすことができる。	利用者の支援内容は、保護者の要望と本人の興味関心のある事を織り交ぜながら、目標に向かって成長していけるよう支援内容・課題をスモールステップ化しており、療育教材などを工夫している。相談は、随時受け入れて個々に実施している。	支援内容が保護者の要望に偏りがちになるので、お子さん本人が楽しく取り組めるように折り返しをつけることが課題である。支援員が、子供達の苦手意識のある課題にも嫌いだけれど楽しく取り組めるような知識と方法を身に付ける為のスキルを研修や日々の指導のもと、質の工場に努めていく環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか」「こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。」等の事業所での利用者の過ごしについての伝え方に不十分さがある。	利用者の保護者様に、実際に事業所での生活空間の様子や間取り、活動実施の様子をお伝えしているが、保護者の方に事業所に来て頂き、支援室を見て頂くような機会が不十分であった。	モニタリングの機会に事業所へ来ていただき、支援室を見ながら様子をお伝えする。ホームページのリニューアル後には、そちらに会報や活動や予定といった情報と写真を掲載する事で、支援のご理解を得れるように改善に努めていく。
2	非常時の対応「安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。」等の内容検討。	毎年二回の避難訓練の実施と、不審者対策研修を職員で行っている。ただし、関係機関の指導や緊急時対応の専門性が高いとはいえない。	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。
3	(自立支援)協議会等への案内が届いているが、出席ができていない。	自立支援協議会には参加しているが、担当者で開催日時との折り合いがつかず、自立支援協議会への出席は行えていない。	今後は、職員内で参加が可能になるように都度、選任者を決めて、参加を行えるようにして改善を行っていく。